



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

## THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
PHONE (06)344-1717

APRIL, 1987. IV - 10



1986~1987 THEME

「行動の伴った議論を！」— Deeds Not Words Shall Speak — IP  
「心をついにチャレンジ」— For One And For All Through The Y'S Dom — RD  
「明日に向けて力強く前進しよう」— Onward Tomorrow — DG  
「Y'S Men! Be Romantic」— P

EMPHASIS THIS MONTH :

INTERNATIONAL...Leadership training  
JAPAN...研修の月  
(リーダートレーニングを通して自己改善を)

### Thought for the Month

They asked her, "Woman, why are you crying?"  
"They have taken my Lord away," she said, "and I don't know where they have put him." At this, she turned around and saw Jesus standing there, but she did not realize that it was Jesus.

(JOHN 20: 13~14)

マリヤは彼らに言った、「だれかが、わたしの主を取り去りました。そして、どこに置いたのか、わかりません。」そう言って、うしろをふり向くと、そこにイエスが立っておられるのを見た。しかし、それがイエスであることに気がつかなかった。

(ヨハネによる福音第20章13,14節)

### 今月の聖句によせて

17世紀オランダの絵画巨匠レンブラント (Rembrandt van Rijn) は聖書をテーマにした多くの作品を遺しているが、そのうちの一つ "マグダラのマリヤの前に現われる復活のキリスト" は丁度この聖句の場面と思われまふ。

マグダラのマリヤは1週の初めの日に、朝早く主イエスを葬った墓を訪ねた処、主イエスのなきがらが見当らず嘆き悲しみ泣いていた。そこへ復活の主イエスが来られたが、マリヤはすぐには解らず、主イエスから "マリヤよ" といわれて初めて主イエスであることを見出すのであります。復活の物語



の一つとしていつまでも語り続けられるこのことは、いろいろのことを教えられるますが、私達が過ぎ去ったことへの悲しみにもみ陥っていると、折角新しく神より賜る希望の光が照らされても、それを見出し得ない状態になることへの警告でもあります。

十字架にかけられた主イエスが死に打ち勝ち給い、よみがえられたことは喜ばしいことであり、御子イエスによって救われた感謝で次にこのイースターに神への讚美を続けていきたいものであります。(ことしのイースターは4月19日)

福永 嘉彦

# THE CENTENNIAL

## 4月例会プログラム

日時 4月15日(水) PM6:30~8:30

場所 大阪YMCA会館9F

司会 堀君

1. 開会
2. ワイズソング
3. 聖句朗読 松本君
4. ゲスト紹介
5. 日々の糧
6. 晩さん

## 7. スピーチ

「みんなで考えよう-LTって何?」

スピーカー 山田君

## 8. 誕生祝い

## 9. 役員会 委員会報告

YMCA ニュース

## 10. 閉会

当番 第2班 杉本、堀、多田、正司、瀬戸

第2例会 4月22日(水) PM6:30~8:30

国際社会奉仕センター

**お知らせ**

7月より第一例会も国際社会奉仕センターに戻ります。

— フランチャイズでセンテニアルの特質を生かし より活性化のために —



## 大阪YMCA国際・社会奉仕センター

〒530 大阪市北区堂島1-5-17 堂島グランドビル1F ☎06-344-1717

●国鉄大阪駅より南へ徒歩10分 ●地下鉄四つ橋線肥後橋駅下車北へ5分



## NEWS IN BRIEF

### 1987年度 新役員決まる

会長 杉本恭之助

副会長 平田雅利、庄司泰子

書記 掛江康一、杉浦真喜子

会計 山村幸明

監事 中村隆幸、山田孝彦、森庄司、鈴木謙介、谷川寛

左記の新役員は、新年度役員候補選考委員会(3月3日開催)で原案が作成され3月18日の例会の席上、総会を開き、承認されました。

3月21日大阪長野ワイズメンズクラブ創立10周年が河内長野市民会館で開催された。当日は約160名が参加し、当クラブより鈴木メン、メネット、中村、杉本、真嶋の各メンが出席しました。

(鈴木メネットに参加報告を書いていたただければ…そう意見が出ていました。)

4月5日(日)センテニアルでお花見をしました。

桜見物と水上バス遊らん

日時: 1時30分 JR大阪城駅前

2時 乗船

会費: ¥3,000,-

### Statistics (統計) 出席に心がけよう

| 3月例会出席状況<br>(在籍会員36名) | ニコニコ<br>献金    | B<br>ポイント                  | F<br>ポイント | ファン<br>3月末累計  |
|-----------------------|---------------|----------------------------|-----------|---|
| メ ン 20名               | 3月            | 3月                         | 累計        |   |
| 出席率 55.56%            | 不明につき<br>次号に。 | 切手 3,299pt<br>現金 5,150pt   | 288,202円  |   |
| メネット 0名               |               | 累計                         |           |   |
| コメント 0名               |               | 切手 19,800pt<br>現金 72,170pt |           | BF3月度貢献者<br>掛江、黒田、上月<br>小林、杉浦、鈴木<br>松本、森、山村<br>横山の皆さん |
| ビジター<br>ゲスト ※ 0名      |               | 合計 91,970pt                |           |   |
| 計 20名                 |               |                            |           |   |

Hello!

## 大阪YMCA日本語学校の留学生に誌面インタビューしました。(その6)

YMCAサービス委員長 田中 稔 二

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己紹介<br/>国、年齢、性別、日本に来て何年になるか<br/>配偶者の有無など</li> <li>② 日本に来て困ったこと</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 日本に来てうれしかったこと</li> <li>④ 日本人をどう思うか</li> <li>⑤ YMCAに何を期待するか</li> <li>⑥ 日本語学習の目的</li> </ul> |
|---|--|

FIONA SENNET (オーストラリア)



- ① 19才 独身 女性 日本に来て8ヶ月になります。今は伊丹でホームステイをしています。
- ② まず日本に来て最初に道などがすごくせまいので、びっくりしました。  
それから、来てすぐのころ電車に乗った時、ある女の人のカサが電車のドアにはさまりました。オーストラリアでならきっとみんな一緒に笑うと思いますが、その時は、はさまった本人はもちろん周りの人も誰も笑わず、自分一人が笑ってしまったので大変はずかしかったです。
- ③ デパートなどの店が大きく、品物も種類がたくさんあるのがうれしかった。後、旅行が好きなので毎月どこかに行きます。北海道や島根など色々な所に行きました。夏の盆おどりも好きです。
- ④ 日本人はきちりして、とても真面目だと思う。  
自分からたずねれば、とても親切に接してくれますが、自分に関係のないことには、無関心なように思えます。
- ⑤ 授業には満足しています。
- ⑥ 中学校2年の時学校で語学としてドイツ語か日本語かをとらなければいけなかったで、日本語を選び、今まで勉強してきました。大学を休学して来ているので、オーストラリアに戻ったらもう一年大学に行きます。その後の事は決めていませんが、日本と取引をしている会社が多いので仕事をみつける時、日本語が出来れば少し有利かもしれません。

MICHAEL DAVID CONTE (カナダ)



- ① 18才 独身 日本に来て7ヶ月になります。ロータリーの交換留学生として来て、今は摂津の公立高校に通っています。
- ② 日本語はもっと簡単だと思っていたが、勉強してみると想像以上にむずかしかった。  
それに自分が間違っただけを話していても、「間違っていますよ」と指摘してくれる人が少ないので、自分では正しいと思いつけてしまう。何が言いたいが、わかってもらえたり、間違いは間違いとして直してほしい。
- ③ 自分の国とは全く違う文化を体験できた事がうれしい。特に日本には独特の文化があるので大変興味深い。
- ④ 日本人は親切だしとても好きです。しかし、時として何を本当に考えているかがわからずとまどってしまいます。それに皆、親切だけれどやはりそれは自分外国人として見られているからだと感じる時があります。日本人が自分たちの間に無意識に壁を作ってしまい、それを越えるのがむずかしいです。しかし自分たちは今までの自分の国と比べてここがこう違うと批判してしまいがちですが、本当の日本人を知るためには日本語でじっくり話すことが一番だと思うのでそのためにも、もっと日本語が話せるようになりたい。
- ⑤ 8月には交換留学生としての期間も切れてしまうので、国に戻らなければなりません。日本語の勉強はカナダの大学でも続けたい。できれば日本の大学にも留学したいです。

アンディ・ハリディー (イギリス)



- ① 23才 独身 日本に来て約1年です。
- ② 銀行に行った時など、日本語が通じなくて困ったことがあります。それと、くつのサイズが大きいので仲々合うくつがみつからなくて困ります。
- ③ 日本に来てうれしいことはたくさんあります。  
まず和食が大変好きなので毎日食べることができてうれしいです。(但し塩辛と納豆以外ですが…)。それから私はもうの大ファンです。友達がちゃんこ鍋料理屋の主人なので、一度練習を見に行く予定だったのですが、行けなくなってしまいとても残念に思っています。
- ④ 皆さんとてもいい人だと思います。一度、一ヶ月位ホームステイさせていただいた家の人達は本当にとても親切でした。  
ただ、ラッシュアワーの時、見る人々はとてもおそろしく感じます。皆互いに押し合いながら進むのでこわいです。後、よく男の人が路上につばを吐き捨てるのを見ますが、あれもあまり感心出来ません。
- ⑤ 日本に来る前ロンドンで道を歩いていて「日本でホームステイをしよう！」という看板を見て日本に来ることに決めました。  
アジアの国々に興味があるので、もう少し日本語の勉強をして、日本で大学に行き、将来は色々な国に行ってみようと思っています。

### HAPPY BIRTHDAY

|           |            |                      |
|-----------|------------|----------------------|
| 柴田 健君     | 4・5 (1932) | 染井吉野 (軽いジェラシー)       |
| 柴田 暢子メネット | 4・11       | 緑・銀蘭 (一途な心・熱狂的なファン)  |
| 長安美和子メネット | 4・4        | 豆桜 (若い情熱)            |
| 堀 新子メネット  | 4・9        | 燈・アイスランドポピー (一人でいたい) |



# THE CENTENNIAL

## IBO WORLD NETWORK



### ハワイ区の次期部長に L・ヒラナカ氏

—ヌアヌ・クラブのワイズメン—

私達のブラザー、ヌアヌ・クラブのL・ヒラナカ氏がハワイ区のメトロ部の次期部長になりました。このヒラナカ・ワイズが、センテニアルクラブとのブラザー・クラブの橋渡し役をした人です。以下の記事をお読み下さい。

#### A Y's MAN NAMED LARRY HIRANAKA METRO DISTRICT LT.GOVERNOR



If you ever drive toward kilauea on Kauai and pass a fielded area called Koolau, you'll here a little voice tell you' that a very famous person was raised here! LAWRENCE "LARRY" TAKASHI HIRANAKA loves to tell this tall tale. In

fact, be careful of LARRY. He's a big tease and tease and kidder and makes some fast comments that will floor you.

After moving to Honolulu and a two-year duty in Japan, LARRY met and married MAE. He then decided to major in traffic management at the University of Baltimore. A job with AMFAC as their Freight Traffic Coordinator brought LARRY and MAE back to Hawaii.

In 1964, the Public Utilities Commission gave him a job and there he sits now as the Director of Transportation. His PUC job brought him in contact with him best friend, boss, and sports companion, MEL ISHIHARA. Add BRUCE ASAYAMA, and you have quite a trio!

MEL introduced LARRY to the Y's Men and he

hasn't stopped moving toward the Y. LARRY is active on the the Board of Nuuanu YMCA and in all areas of Y's dom. He has received the first International Service Award presented by the Nuuanu YMCA.

LARRY has a daughter, LAUREE, who just finished her first year as a second grade teacher at Nanaikapono School.

Don't forget now, when you're riding toward kilauea on Kauai and pass a fielded area called Koolau and hear the little voice tell you about the famous person who was raised here...that's LARRY...but it's a Tall Tale!

### ハワイの区大会がマウイ島で

—5月22日~24日—

ハワイ区大会がマウイ島であります。センテニアルにも案内が来ています。どなたか参加しませんか。登録は4月7日まで。

# WANTED

## Y'S MEN TO COME TO THE 51<sup>ST</sup> CONVENTION



Where: MAUI BEACH HOTEL  
Wailuku, Maui

When: May 22, 23, 24 1987

REMEMBER: REGISTRATION DEADLINE IS APRIL 7, 1987  
Make your reservations today!

Registration fee: \$25.00 for delegates  
5.00 for non-delegates

Rooms: \$47.00 single/night  
51.00 double/night

Meal package: \$60.00 includes Fri. dinner,  
Sat. & Sun. Cont. Brfst,  
Sat. & Sun. lunches,  
Sat. dinner



ことばの勉強はいかがですか

アジアのことば

韓国語、中国語、タイ語、インドネシア語、スワヒリ語

■募集要項

期間：春期1987年4月13日の週の各曜日から全20回（9月中旬まで）

秋期1987年10月12日の週の各曜日から全20回（3月中旬まで）

受講料：42,000円

- 入学金として受講料の他に5,000円別途必要です。
- 継続生は、入学金は不要です。
- テキスト代は、別途必要です。
- 一旦納入された学費は開講できない場合も除いて返金できませんので、ご注意ください。

定員：各15名

- 受講者が7名以下の場合、開講されない場合があります。

受講時間：午後6時30分～午後8時30分（2時間）

外国語カルチャーメドレー

（募集要項）

●春コースは4月18日（土）より毎週土曜日。（午後1時30分～4時）フランス語→スワヒリ語→中国語→インドネシア語→ベルシャ語→ロシア語→ネパール語→シンハラ語→トルコ語→タイ語→スロバキア語→韓国語 以上12ヶ国語に挑戦！

●秋コースも、10月中旬より別の12ヶ国語にチャレンジします。

（詳しくは、パンフレットをご請求下さい。）

●期間/'87 4/18～7/11

●時間/午後1時30分～3時45分

●会場/YMCA 国際・社会奉仕センター

●内容/各国紹介45分、基本的な日常会話1時間半

※自宅でも会話練習ができるよう、別売でテープもご用意いたします。

●定員/毎回先着40名（ただし通しの方を優先させていただきます。）

●参加費/1ヶ国1,500円（YMCA会員1,200円）  
12ヶ国通し15,000円（YMCA会員13,000円）

●お申込み/●通しの方は4月16日までに上記会場にてお

申込み下さい。

- 1回のみの方は、希望される回の前日までに、電話にてお申込み下さい。

海外帰国子女プログラム

Y-Junior English

小学生・中学生・高校生

期間 第1期 1987年4月11日～7月18日

第2期 9月5日～12月19日

第3期 1988年1月9日～3月19日

10月10日（祝日・体育の日）は休講です。

別に夏期特別コース（7月29日～8月8日）、サマーキャンプ（期日未定）、スプリングスクールキャンプ（期日未定）を予定しています。

Saturday

Weekend English Seminar '87

英会話

英語で日本紹介

身につく実用文の書き方

基礎英語

英検2級受験コース

期間 春期 1987年4月13日（月）～9月26日（土）  
（夏休み 7月20日（月）～8月31日（月））

秋期 1987年10月12日（月）～3月5日（土）  
（冬休み 12月21日（月）～1月9日（土））

時間 10:30～12:30

学費 入学金 10,000円

授業料 44,000円

（在校生及び継続生は入学金は不用です）

教材費は別途実費が必要です。（500～2,000円）

お問合せ・お申込みは

YMCA ランゲージセンター（堂島）

〒530 大阪市北区堂島1-5-17

堂島グランドビル1F・3F

TEL (06) 441-0892

Mr. Clare Graham (元国際会長、'88年京都国際大会委員長) 中西部訪問 歓迎夕食会

- ・4月16日(木) PM6:30~8:30
- ・大阪YMCA会館 103号室
- ・会費 2,000円(軽食)
- ・希望者は森まで

谷川君 ロンドンYMCA 都市会議に出席予定

五月初旬ロンドンで開催の世界YMCA URBAN NETWORK 会議にレイマンとしてアジアを代表して参加されます。

ヨーロッパ、ラテンアメリカ、アジア、北米から各一名のレイマンが、これに参加しパネリストとして発題をします。谷川君がアジアを代表して発題します。

## Comings & Goings

ロス・アン・ゼルス  
の  
ワイズメン来阪

ロスアンゼルスウェストチェスター・クラブのワイズメン、F・ユゴー氏が東南アジア訪問の帰途、京都、大阪を訪問します。4月18・19日京都に滞在予定。当クラブの黒田、谷川両兄がアテンドします。

BF 代表当クラブ訪問

インドのBF代表K.C.G.VERGHESE氏は第二例会(5月27日(水))に当クラブを訪問します。当クラブでのホームステイを希望しています。誰がホストしてくれませんか。

## EDITOR'S NOTE

### 編集長川越さんへ引継ぎに先立って

ブリテン当面のスケジュールを次の通りセットします。今後は前月末手許必着するよう編集を早めたい。

- ①7月号までの原稿は原稿締切までに村田宅必着とします。
- ②聖句(福永さん)IBC(谷川さん)、BF数字(山田さん)ニコニコの金額(山村さん)、ファンド(杉本さん)、出欠(松本さん)。それぞれ上記に従ってご協力下さい。

|     | 原稿<br>締切    | 編集<br>締切    | 出稿<br>締切    | 校正 | 印刷 | 発送          |
|-----|-------------|-------------|-------------|----|----|-------------|
| 5月号 | 4/15<br>(水) | 4/20<br>(月) | 4/20<br>(月) | -  | -  | 4/27<br>(月) |
| 6月号 | 4/28<br>(火) | 5/11<br>(月) | 5/11<br>(月) | -  | -  | 5/27<br>(水) |
| 7月号 | 5/30<br>(土) | 6/8<br>(月)  | 6/8<br>(月)  | -  | -  | 6/27<br>(土) |



### アジア聖フランシスコによる平和の祈り

神よ、あなたの平和をもたらすために、  
わたしのすべてをもちいてください。  
憎しみのあるところに愛を、  
争いのあるところにゆるしを、  
分裂のあるところに一致を、  
誤りのあるところに真理を、  
疑いのあるところに信頼を、  
絶望のあるところに希望を、  
闇のあるところに光を、

悲しみのあるところに喜びを  
もたらすことができますように。  
ああ、神よ、  
わたしにのぞませてください。  
慰められることよりも慰めることを、  
理解されることよりも理解することを、  
愛されることよりも愛することを。  
わたしたちは借しみなく与えてこそ受け、  
すすんでゆるしてこそゆるされ、  
自分の命を与えてこそ  
永遠に生きるものとなるからです。